

金田一春彦記念図書館デジタルアーカイブ公開！

金田一春彦
(1913-2004)

言語学者金田一京助の長男として東京に生まれる。方言（特に日本語のアクセント）の歴史の変遷の研究において大きな業績を残す。また、国語辞典の編纂者としてもよく知られている。

写真：立木義浩

金田一春彦記念図書館では、国語学者の故・金田一春彦先生と故・平山輝男先生が残した直筆原稿や調査票、全国の方言を採録した音声資料をアーカイブ資料として保存しています。これらの貴重な資料を末永く保存し、今後更なる活用を図っていくために、平成27年度からデジタル化を進めてきました。そして平成29年8月31日より、デジタル化した資料をインターネットで公開しています。両先生の研究や個人史を是非ご覧ください。

公開サイト情報

「ADEAC」
<https://trc-adeac.trc.co.jp/>

ADEAC 金田一春彦記念図書館

検索

どのように方言調査をしていたのか見てみよう！

平成29年

10月8日（日）午後1時30分～

会場：大泉総合会館 定員：150名(要申込)

進行：田中美奈子（春彦先生長女）

パネラー：上野 善道（東京大学名誉教授）

日高貢一郎（大分大学名誉教授）

久野マリ子（國學院大学教授）

小林 是綱（NPO法人地域資料デジタル化研究会理事長）

共催：北杜市教育委員会・公益財団法人 図書館振興財団

公開記念シンポジウム開催！

※申込・問合せはこのページの最下部の連絡先にて受付けています。

先生との思い出やデジタル化の意義について語ります。

※本事業は公益財団法人図書館振興財団平成27年度提案型助成を受けて実施しています。

とじだせ！

～北杜市図書館を拠点に活動中の図書館ボランティアを紹介～

としょかんボランティア

第15回 配架・書架整理

北杜市図書館では、現在7名が配架や書架整理のボランティアとして活動しています。

返却された本を元の棚に戻したり(配架)、本の並び順や乱れを直したりする作業(書架整理)をしています！



↓作業中のボランティアさん

分類ごとにタイトルや著者を見ながら本を並べていく作業は大変ですが、いつも丁寧に整理してくださっています。

皆さんに気持ち良く図書館を利用いただくためには、欠かせない存在です。

北杜市図書館では、ボランティアを募集しています。興味のある方はお近くの図書館までお問い合わせください。

司書のつぶやき

ほん、ま、かいな！

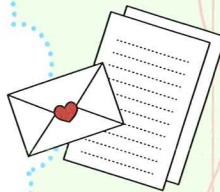
～ほのぼのエピソードのまき～

利用者の方との、ほっこりほのぼのとした出来事♪…今回はその一部をご紹介します。



各図書館の定例おはなし会に参加してくれた親子。4月から保育園に入園のため「ありがとう」という気持ちと一緒に、手作りの感謝状と写真をいただきました。とてもうれしかったです。

利用者の方が探していた本が該当場所になく、別の棚にあったのを職員がを見つけ無事に貸出。返却時に「本を探してくださった職員さんありがとうございます」という内容と読後の感想が添えられたお手紙が…。今でも大切に保管しています。



文化祭でお花を展示したあとに、図書館に飾ってくださいと毎年持ってきて下さり、館内が華やかになり癒されます。（ろう梅をいただいたときは、館内が良い香りにつつまれました。）



やまね便り

63号

特集

ほくと

地域資料×てくてく探訪

金田一春彦記念図書館
デジタルアーカイブ公開！

とじだせ！

としょかんボランティア

第15回 配架・書架整理

司書のつぶやき

ほん、ま、かいな！

～ほのぼのエピソードのまき～



表紙：明野図書館近くのコスモス

編集後記 昨年、日光東照宮と久能山東照宮を訪れてから「東照宮」に興味を持ちました。その後『甲斐の東照宮信仰』（高橋晴俊/著・岩田書院）という本を読み、「東照宮って山梨にもこんなにあるんだ！」と驚き。地域資料を読む機会は少ないですが、地域のことを知りたいときにはとても便利です。（は）

発行日 平成29年9月25日 編集・発行 北杜市図書館 問い合わせ 北杜市中央図書館（金田一春彦記念図書館内）TEL 0551-38-1211 FAX 0551-38-1126
創刊号 平成17年3月31日（年4回発行）

1

うわどじんじゃいしとりい 【右波刀神社石鳥居】明野

平安時代に建立されたといわれ、延長5年(927)年にまとめられた『延喜式』にも記載された由緒ある神社。全国的に見ても、最も古い鳥居の一つに数えられ、県指定有形文化財になっている。高さは一番高いところで2.52mと、写真の通り女性でも頭が通るほど。

所在地：明野町上手937

『まちミューガイドブック
北杜市明野エリア編』
特定非営利活動法人つなぐ
ほんぽん堂

出典：『明野村誌』明野町誌編集委員会／編集 明野町
『明野村の文化財』北杜市埋蔵文化財センター



2

おびのばんしょ（ものみいし・ちごいし） 【小尾の番所(物見石・地護石)】須玉

黒森地内に入り右側に見える「小尾番所址」。武田時代より関所が置かれ、軍事・行政共に貴重な地域であった。道を挟んだ反対側に番屋があり、信州からの敵に対する警戒が行われていた。4m四方程の石の上には武田菱が彫ってある。

所在地：須玉町小尾黒森8419
(黒森バス停近く)

出典：『広報すたま縮刷版』第3巻
須玉町役場総務課企画係／編 須玉町
(館内閲覧のみ)



3

あかだけじんじゃ 【赤岳神社】高根

東井出にある木々に囲まれた神社。天正10年徳川家康入国時に国家太平を祈誓。火水除、五穀豊穡の守護神として信仰が厚い。入口の階段左側に「観月勝地赤岳神社」とあり、月が綺麗に見える場所でもある。

所在地：高根町東井出1012

出典：『高根町内神社とまつりごと』山本千杉／編



4

ちょうようざんせいこうじ 【朝陽山清光寺】長坂

源清光公の開基といわれている寺院。甲斐源氏の祖、森羅三郎義光の孫、源清光が甲斐国市河庄(現在の市川三郷町)に配流となり、その後逸見地方まで勢力を広げたのが始まりといわれている。大正12年8月、当時北巨摩郡教育支会長だった堀内柳南が「高原夏期大学」を開き、講師の一人として芥川龍之介がここで講義を行った。

所在地：長坂町大八田6600

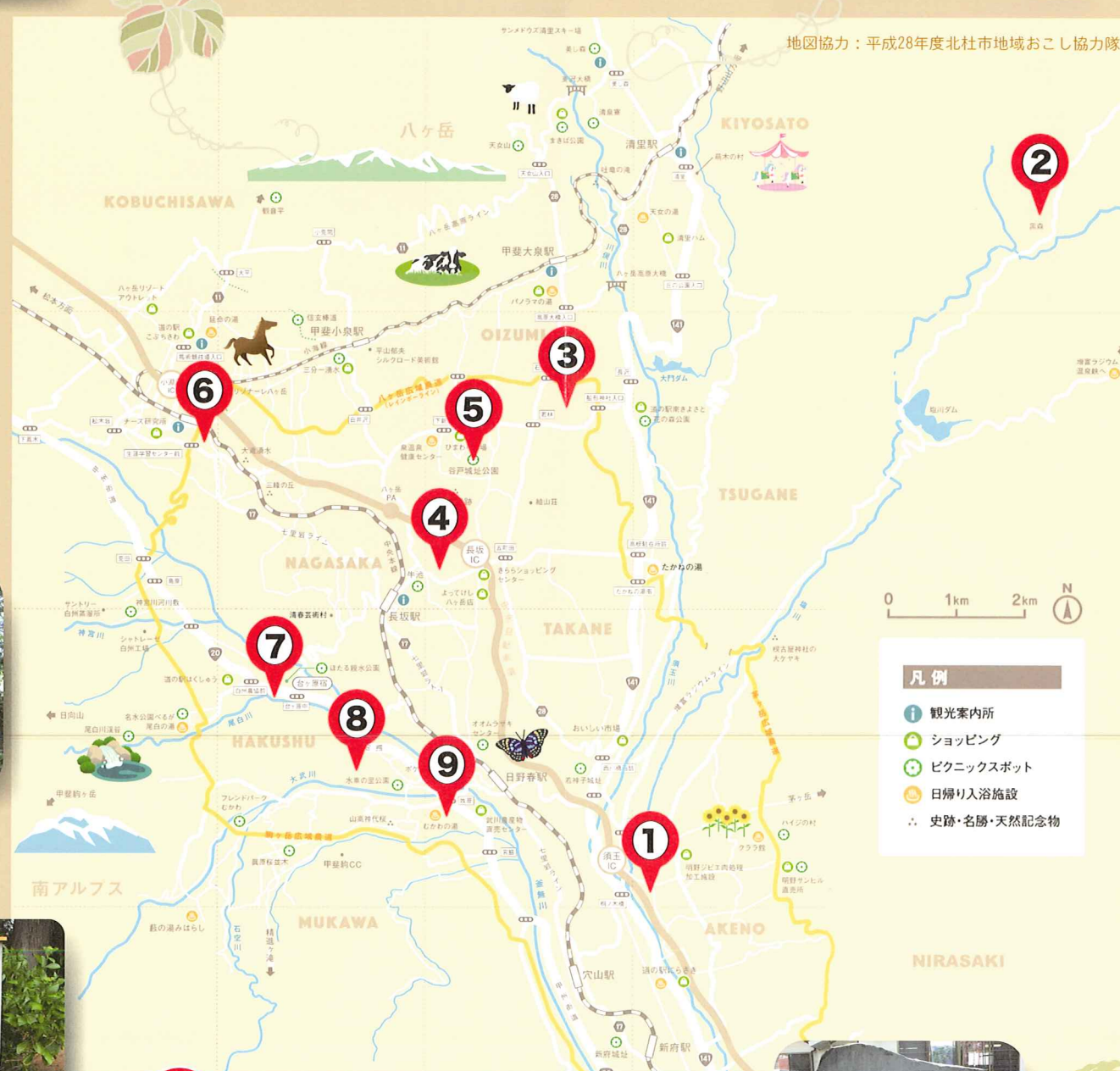
『柳南の本』
長坂町郷土資料館／編
長坂町郷土資料館

出典：『長坂町誌(下巻)』長坂町誌編集委員会／編集 長坂町



地域資料 × ほくと てくてく探訪

山々を身近に感じ、自然豊かで多彩な表情が楽しめる北杜市。歴史も古く、縄文時代の遺跡があらこちらで出土するなど、歴史的価値のある石造物も点在している。今回はそんな名刹を地域資料とともに巡る、てくてく探訪をご紹介します。さあ、Mapを手掛かりに歴史に触れるMini Tripに出かけよう！



- 凡例
- 1 観光案内所
 - 2 ショッピング
 - 3 ピクニックスポット
 - 4 日帰り入浴施設
 - 5 史跡・名勝・天然記念物

9

くぼたせいのぶんがくひ 【窪田精の文学碑】武川

窪田精は戦争と人間を書き続け、芥川賞候補にもなった北杜市出身の作家。窪田精の文学碑を建てる会の発端から12年の時を経て、2016年9月に建立。建立地は、代表作『石楠花村日記』の舞台となった武川診療所の一画。碑は高さ約170cm、幅約180cmで、『石楠花村日記』と『文学活動のなかで』の一節が刻まれている。脇には窪田精の略年譜の碑もある。

所在地：武川町牧原1371(武川診療所内)

『窪田精文学碑建立報告書』
窪田精文学碑を建てる会／編
窪田精文学碑を建てる会



報告書

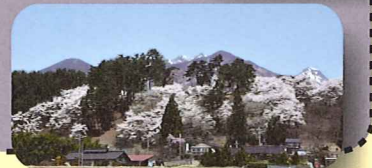
5

やとじょうあと 【谷戸城跡】大泉

谷戸城は、源清光(逸見黒源田清光)の居城と伝えられている。八ヶ岳山麓の天険を利用して築いた山城で、二の丸、三の丸とも塁壕を残している平安時代末期～鎌倉時代初期の城跡として貴重である。

所在地：大泉町谷戸城山2736-2

出典：『大泉村誌(下巻)』
大泉村誌編集委員会／編集 大泉村



6

きゅうひらたけじゅうたく 【旧平田家住宅】小淵沢

もともとは小淵沢町松向にあった平田長門氏の住宅で国指定文化財。中には馬屋があり、馬草鞋をはいた竹製の馬がいる。「東海道五十三次」や「木曾街道六十九次」の浮世絵にみるように江戸時代までは馬に馬草鞋をはかせて大切にしていた。それを忠実に再現している。

所在地：小淵沢町7761-4

『旅 馬と人』
馬事文化財団馬の博物館／編集
馬事文化財団
出典：『小淵沢町誌(下巻)』小淵沢町誌編集委員会／編集
小淵沢町役場



7

やまぐちそどうのくひ 【山口素堂の句碑】白州

山口素堂は、寛永19年5月に甲斐巨摩郡教来石村字山口(現在の白州町)に生まれた江戸時代末期のすぐれた俳人。句碑は3つあり、国界橋南方、白州支所、道の駅はくしゅうにある。句碑には素堂の代表作で知られる「目には青葉 山ほととぎす はつ松魚」と記されている。

所在地：白州町白須312(白州支所)
1308(道の駅)
白州町上教来石明神前261
(国界橋南)



『郷土史にかがやく人々 第12集』
青少年育成山梨県民会議／編集
青少年育成山梨県民会議

出典：『白州町誌』
白州町誌編集委員会／編集 白州町役場



8

ばんきゅういんのまいづるまつ 【萬休院の舞鶴松】武川

初代の松は火災に遭い焼失。二代目の松も樹齢450年といわれた名木で、1934年に国の天然記念物に指定されたが、2006年松くい虫の被害のため枯死。現在は三代目で樹齢100年の赤松を移植したものである。

所在地：武川町三吹2915

『舞鶴の松』
杉浦道彦・桑子／著

